

9月24日：アナリストは変動の大きいマーケットに慎重な姿勢を示す

世界市場の直近の変動に関連して、アナリストたちは今週のベトナム株式市場の動きに対して慎重な姿勢を強めている。

ホーチミン市場のVN指数は0.12%安の1,351.17ポイントで取引を終えた。

先週の日当たりの平均売買高は8億4,100万株で、売買代金は21兆7,000億ドン（9億5,230万米ドル）となった。

「先週末の取引、ベトナム市場全体は小幅に下げた。だが中小型株の下落は続き、出来高も大きく減少、多くの銘柄が売られた。慎重な投資家心理を示していた」（MB証券）

先週末の取引では、ホーチミン市場の出来高は減少し、売買高は21兆8,000億ドンから16兆7,000億ドンへ減った。その週で最も低い水準となった。

「世界のマーケットがボラタイルな値動きを見せる中、ベトナム市場は直近3週間、ほぼ横ばいで推移している」（同証券会社）

「資金流入は鈍り、利益確定売りもあるため、VN指数は1,327～1,360ポイントのレンジを挟んでの値動きとなるだろう」（同証券会社）

「マーケットの買い需要は弱く、VN指数は引き続き一進一退の値動きとなるだろう」（BOS証券）

「次の上昇トレンドに移る前に、VN指数は今後1,345～1,355ポイントのレンジで推移し、下値を固めていく可能性が高い」（同証券会社）

「投資家はマーケット上昇時の上値追いを控え、自身のポートフォリオのリスクコントロールを高めながら、マーケットの動きを観察するのが良い」

「中国恒大集団の経営危機の煽りを受け、投資家心理はネガティブとなり、先週最初の2日間、ベトナム市場は値を下げた。しかしその後世界的に株価が回復し、ベトナム株も急速に値を戻した」（サイゴンハノイ証券）

「もしVN指数が今週心理的節目である1,350ポイントを固めてくるなら、次は1,375～1,380ポイントの上値抵抗線を目指す可能性が出てくる」（同証券会社）

「また悲観シナリオでは、もしVN指数が1,350ポイントの支持線を固めることができなければ、1,325～1,340ポイントの下値支持線を目指す展開となるだろう」（同証券会社）

「大型株を保有する投資家は自身のポジションを減らすため、株価の上昇を待つのが良いだろう」（同証券会社）

先週のセクター別の上昇率トップは銀行株だった。代表的なもので、サイゴンハノイ銀行（SHB）+0.7%、アジアコマーシャル銀行（ACB）+1.3%、テクコムバンク（TCB）+1.7%、TPバンク（TPB）+2%、ベトコムバンク（VCB）+2.4%、軍隊商業銀行（MBB）+3.1とそれぞれ上昇した。銀行株に続き、消費サービスセクターの銘柄も買われた。デジワールド（DWG）+1%、モバイル・ワールド・インベストメント（MWG）+6.1%高とそれぞれ上昇した。

その一方で一部の下落セクターは売られた。ホアセングループ（HSG）-2.4%、ホアファットグループ（HPG）-1.9%、ナムキム鉄鋼（NKG）-1.3%といった鉄鋼株が下落した。

化学、農薬関連セクターも軟調だった。ペトロベトナム化学肥料（DPM）-1%、ペトロベトナム・カマウ肥料（DCM）-2%とそれぞれ売られた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに



帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。